

地図は持っていたが見なかった。しっかりと道があったので北の尾根へ進んでしまった。赤テープもあったので正解ルートと思い込んでいた。気がついた時には、登山道はなくなっていた。

林業用の赤テープあり

道がしっかりしている

天王寺尾根

至…天王寺山

休憩も取らず、地図も見ないでただひたすら尾根道を下ったことが最大の原因。もちろん地図は携帯している。特に今回のようなロングコースの場合は1/25000の地図の他に、地形図が細かくよくわかるようにともう少し拡大した地図も持参した。

私がきっちり用意した地図であるにも関わらず自分で見ないですべて旦那さま任せにしている。これが一番よくないことだ。実は旦那さまは休憩がしたかったし、地図も見ようとしていたらしい。でも私が1人で先に先に進んで歩いて行くので地図で確認する間もなかったのだ。（中略）

下ってきた道を再び登って行くというのは、本当に心が折れることなのだけどその気持ちに打ち勝てた。土の状態が悪いながらもまだ戻れる状態だったし、戻った方が良いと判断したので下らなかった。

（HP参照）

今回は、道に迷ったら戻るという原則を実行し、大事には至らなかった。そして、今後の山行に備え、GPSを購入したり、地図を見ることを重要と認識されたり、計画書の提出の大切さを語られている。苦い思い出は、次の山行に役立てられる。